

各種検診・健診の実施施設

概説

各種検診・健診の実施施設研修プログラムでは、各研修場面での関わり及び検診・健診活動を通して、法定検診、総合健診の意義を理解し、その初歩的診断技術・健康指導技術を習得し、産業医学の一部も経験できる(具体的には下記項目)よう目指している。具体的には、地域保健医療(各種検診・健診の実施施設)研修における週間スケジュール例、学習方略、上記に沿った学習媒体としてのシミュレーションケースとその経過(モデル例)及び指導ポイント指導医として評価すべき重要なもの及びどのような水準で達成とするかを例示した。

- 1) 各種検診・健診の意義と診断手技を習得する。
- 2) 適切な事後措置・事後指導ができる。
- 3) 予防医学の初歩を習得する。

(1) 研修スケジュール例

地域保健医療(各種検診・健診の実施施設)研修における月間スケジュール例を示す。

<例1>

1週目	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション (地域・職域健診、 総合健診)	地域・職域健診実務 (問診・診察)	地域・職域健診実務 (問診・診察)	地域・職域健診実務 (問診・診察)	再検外来診察 (一般内科)
午後	オリエンテーション (再検外来、事後 措置、予防医学)	総合健診実務 (問診・診察)	総合健診実務 (問診・診察)	総合健診実務 (問診・診察)	健康指導 (各種健康教室)
		勉強会(循環器)	勉強会(呼吸器)	勉強会(消化器)	勉強会 (健康行動理論)

2週目	月	火	水	木	金
午前	腹部超音波検査 手技習得	腹部超音波検査 手技習得	腹部超音波検査 手技習得	腹部超音波検査 手技習得	再検外来診察 (消化器内科)
午後	総合健診実務(問 診・診察・判定・健 康指導)	総合健診実務(問 診・診察・判定・健 康指導)	総合健診実務(問 診・診察・判定・健康 指導)	総合健診実務(問 診・診察・判定・健 康指導)	産業医業務 (職場巡視等)
	腹部超音波検査 症例検討	腹部超音波検査 症例検討	腹部超音波検査症 例検討	腹部超音波検査 症例検討	勉強会 (産業医学概論)

3週目	月	火	水	木	金
午前	胸部レントゲン写 真読影技術習得	胸部レントゲン写 真読影技術習得	胸部レントゲン写真 読影技術習得	胸部レントゲン写 真読影技術習得	再検外来診察 (呼吸器内科)
午後	心電図解析 技術習得	心電図解析 技術習得	心電図解析 技術習得	心電図解析 技術習得	産業医業務 (事後措置等)
	心電図・胸部X線 写真症例検討	心電図・胸部X線 写真症例検討	心電図・胸部X線 写真症例検討	心電図・胸部X線 写真症例検討	勉強会 (CT/MRI/PET 等)

4週目	月	火	水	木	金
午前	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得	再検外来診察(循環器内科)
午後	眼底写真判定技術習得	マンモグラフィ読影技術の習得	表在超音波検査手技習得(乳腺・甲状腺)	CT/MRI/PET等の読影技術の習得(先端健診)	まとめ・講評
	眼底写真・消化管X線写真検討会	マンモグラフィ・消化管X線写真検討会	表在超音波検査・消化管X線写真検討会	CT/MRI/PET等の症例検討会	

<例2>

註(前半:健康診査、健康診断、後半:がん検診)

1週目	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション(予防医学、生活習慣病、健康づくり、産業保健)	地域・職域健診実務(問診・診察)	地域・職域健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	地域・職域健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	再検外来診察
午後	オリエンテーション(健康診査、がん検診、健康診断)	施設健診実務(問診・診察)	施設検診(問診・診察・判定・健康指導)	施設健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	健康指導(各種健康教室)
	オリエンテーション(精密検査、事後管理)	勉強会(循環器)	勉強会(循環器)	勉強会(糖尿病等)	勉強会(生活習慣の改善、健康づくり)

2週目	月	火	水	木	金
午前	腹部超音波検査手技習得	腹部超音波検査手技習得	胸部X線写真読影技術習得	胸部X線写真読影技術習得	再検外来診察
午後	眼底写真判定技術習得	眼底写真判定技術習得	心電図解析技術習得	心電図解析技術習得	健康指導(各種健康教室)
	腹部超音波検査・眼底症例検討	腹部超音波検査・眼底症例検討	心電図・胸部X線写真症例検討	心電図・胸部X線写真症例検討	勉強会(産業医学概論)

3週目	月	火	水	木	金
午前	地域・職域検診実務(胃がん)	地域・職域検診実務(子宮がん)	地域・職域検診実務(乳がん)	地域・職域検診実務(乳がん)	地域・職域検診実務(肺がん)
午後	胃造影読影技術習得(胃がん、間接撮影)	胃造影読影技術習得(胃がん、間接撮影)	マンモグラフィ読影技術習得	マンモグラフィ読影技術習得	肺がん読影技術習得
	消化管X線写真検討会(胃がん、間接撮影)	消化管X線写真検討会(胃がん、間接撮影)	マンモグラフィ検討会	マンモグラフィ検討会	肺がん症例検討会

4週目	月	火	水	木	金
午前	施設検診実務(胃がん、直接撮影)	施設検診実務(胃がん、内視鏡撮影)	施設検診実務(乳腺・甲状腺、表在超音波検査)	施設検診実務(子宮がん、細胞診診断)	施設検診実務(がん検診事後指導)
午後	胃造影読影技術習得(胃がん、直接撮影)	上部消化管内視鏡読影技術習得(胃がん)	表在超音波読影技術習得(乳腺・甲状腺)	施設検診実務(肺がん、喀痰細胞診診断、大腸がん、潜血反応)	まとめ・講評
	消化管X線症例検討(胃がん、直接撮影)	上部消化管内視鏡症例検討(胃がん)	表在超音波検査検討会	勉強会(病理・細胞診)	

<例3>

註(前半:健康診査、健康診断、後半:がん検診)

1週目	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション(地域・職域検診、総合健診)	地域・職域検診実務(胃がん)	地域・職域検診実務(子宮がん)	地域・職域検診実務(乳がん)	地域・職域検診実務(肺がん)
午後	オリエンテーション(精密検査、事後措置、予防医学)	地域・職域検診実務(胃がん)	地域・職域検診実務(子宮がん)	地域・職域検診実務(乳がん)	地域・職域検診実務(肺がん)
		勉強会(胃がん)	勉強会(子宮がん)	勉強会(乳がん)	勉強会(肺がん)

2週目	月	火	水	木	金
午前	腹部超音波検査手技習得	腹部超音波検査手技習得	腹部超音波検査手技習得	胸部レントゲン写真読影技術習得	胸部レントゲン写真読影技術習得
午後	総合健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	総合健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	総合健診実務(問診・診察・判定・健康指導)	心電図解析技術習得	心電図解析技術習得
	腹部超音波検査症例検討	腹部超音波検査症例検討	腹部超音波検査症例検討	心電図・胸部X線写真症例検討	心電図・胸部X線写真症例検討

3週目	月	火	水	木	金
午前	胸部レントゲン写真読影技術習得	上部消化管撮影技術習得	上部消化管撮影技術習得	上部消化管撮影技術習得	上部消化管撮影技術習得
午後	心電図解析技術習得	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得	上部消化管造影読影技術習得
	心電図・胸部X線写真症例検討	消化管X線・内視鏡写真検討会	消化管X線・内視鏡写真検討会	消化管X線・内視鏡写真検討会	勉強会(CPC)

4週目	月	火	水	木	金
午前	下部消化管撮影技術習得	病理組織診断技術習得(消化管)	表在超音波検査手技習得(乳腺・甲状腺)	細胞診・診断技術習得(婦人科)	再検外来診察(事後指導)
午後	下部消化管造影読影技術習得	マンモグラフィ読影技術の習得	表在超音波検査読影技術習得(乳腺・甲状腺)	細胞診・診断技術習得(喀痰その他)	まとめ・講評
	勉強会(大腸がん)	マンモグラフィ写真検討会	表在超音波検査写真検討会	勉強会(病理・細胞診)	

(2) 具体的な指導方法の例示

地域保健医療(各種検診・健診の実施施設)研修における主な研修場面に沿った学習方略を例示として設定した。

上記に沿った学習媒体としての、シミュレーションケースとその経過(モデル例)及び指導ポイントを例示した。

関連する到達目標	
C 特定の医療現場の経験	
<予防医療>	食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる。 地域・産業・学校保健事業に参画できる。

主な研修場面	指導医としての指導内容	指導方法(媒体を含む)
オリエンテーション (地域・職域健診、 総合健診)	施設内・外で施行される地域健診・職域健診の法的根拠(安衛法・老健法)と目的を理解させる。	講義
	施設内で施行される総合健診の目的を理解させる。	講義
	健診での効率の良い問診・診察手技を習得させる。	講義、指導、実技
オリエンテーション (再検外来、事後 措置、予防医学)	一次健診での結果を受けて、精査を目的とした再検外来診療の意義を理解させ、実践させる。	講義、指導、実技
	安衛法の定めるところの法定検診の結果に基づく事後措置について理解させ、実践させる。	講義、指導、実技
	予防医学の意義と理論を理解させ、一次予防としての健康指導を実践させる。	講義、指導、実技
オリエンテーション (予防医学、生活 習慣病、健康づく り、産業保健)	予防医学の意義と理論、関連する疫学統計を理解させる。	講義
	生活習慣病の概要とその予防、健康づくり、産業・学校保健、予防医療の関連法規について理解させる。	講義
	一次予防としての生活習慣の改善、健康指導を実践させる。	講義、指導、実技
オリエンテーション (健康診査、がん 検診、健康診断)	健康診査、がん検診、健康診断の内容、必要な知識・技術を理解させる。	講義
	がん発見後の事後措置の方法と検診の評価の重要性について理解させる。	講義、指導
オリエンテーション (検診・健診、精密 検査、事後管理)	施設内・外で施行される地域・職域の検診・健診の目的としくみを理解させる。	講義
	施設内・外で施行される地域がん検診・職域がん検診の目的としくみを理解させる。	講義
	施設内で施行される総合健診の目的を理解させる。	講義
	一次検診・検診での効率の良い問診・診察手技を習得させる。	講義、指導、実技
	精査を目的とした精密検査・再検外来診療の意義を理解させ、実践させる。	講義、指導、実技

	検診・健診後の事後管理について理解させ、実践させる。	講義、指導、実技
地域・職域での検診・健診実務	地域特性、職域特性、特性にあった検診・健診のありかたについて理解し、問診・診察手技を習得する。	指導、実技
総合健診実務、施設での検診・健診実務	施設内で施行される検診・健診の特性を理解し、問診・診察手技を習得する。	指導、実技
上部消化管造影手技習得	上部消化管造影手技の基本、病変の示現の仕方、造影剤や発泡剤の副作用、緊急事態への対応について習得する。	講義、実技
事後指導	がんが発見された受診者への適切な説明と治療への誘導。インフォ・ムド・コンセントについての理解。	講義、指導
勉強会(内科各科、各種疾患・がんの検診・健診)	スクリーニングすべき疾患(生活習慣病、がん等)を理解させ、その診断に必要な知識・技術を習得する。	講義、指導、実技
	旧老健法でのがん検診(胃、大腸、子宮、乳、肺)の診断に必要な知識・技術を習得する。	講義、指導、実技
勉強会(行動理論、産業医学)	効果的な健康指導のための行動理論を学ぶ。産業医学の中でも、とくに事後措置について学ぶ。	講義、ロールプレイ
	産業医の役割・職務、学校保健について理解する。	講義
各種診断技術習得	一次スクリーニングを担えるように、各種診断技術の初歩を習得する。	講義、指導、実技
各症例検討会	診断・判定に苦慮する症例を供覧し、検討する。	指導
CT/MRI/PET	先端的診断モダリティの初歩を学ぶ。	講義、実技

シミュレーションケースとその経過 (モデル例)	指導のポイント
月 日 高齢者の多い山間部での住民検診	<p>医師として検診準備にあたって配慮すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一人の医師が受け持つ時間当たりの検診人数を少なくし、余裕のある検診計画を策定する ● 地域担当保健師などから事前情報をしっかり得ておく。 ● 検診設営会場の下調べ
生活習慣病を既に数種持っている方も多い。感覚器・運動機能障害を持っている方も少なからずいる。理解の良くない方もいる。	<p>医師として検診実施にあたって配慮すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康相談にのる。 ● 急がせず、安心して受診できる環境を提供する。 ● 必要によれば、筆談なども行う。 ● 分かりやすい言葉で説明する。
結果判定	<p>医師として判定を決定する時に配慮すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年齢、通院状況なども含めて総合的に判定をする。うわべだけの判定では、検診したがための疾患を増やしてしまうだけ。 ● 必要であれば、個人情報保護法の許す範囲で、主治医と連携する。 場合によれば、個人情報保護法の許す範囲で地域担当保健師などとも連携する。
事後指導	<p>医師として事後指導にあたる時のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表現は可能な限り平易な言葉を用いる。専門用語は避け、日常語を使用する。 ● 主治医への配慮・助言が必要な場合もある。 ● 即座に治療が必要な場合は、速やかに通達する。 必要なら医療機関を紹介する。 ● 次回も検診を受けたいと思わせるような親身な指導を心掛ける。

(3) 評価における紹介と例示

地域保健医療(各種検診・健診の実施施設)研修における評価を例示として設定した。各指導内容・ポイントに対して、どのような水準で達成とするかを例示した。

指導・内容のポイント	どの程度できればいいのか(例)
各種検診・健診の意義	<p>安衛法でいうところの定期健康診断・特殊健康診断の内容を把握できている。</p> <p>老健法に基づく健康診査、旧老健法に基づくがん検診の意義・内容を把握できている。</p> <p>がん検診の内容、有効性、精度管理、経済効果について理解している。</p>
診断技術・手技の習得	<p>受診者に分かりやすいことばで、適切な問診や説明ができる。</p> <p>健康診査、がん検診、健康診断で必要とされる主な診断手技の基本を身につけている。</p> <p>看護師、保健師、放射線技師、検査技師などのチームと連携でき、検診・健診をスムーズに行うことができる。</p> <p>計画課、検診課など事務方と意志の疎通と協調ができ、合理性を持った検診・健診をデザインできる。</p> <p>受診者の急変や事故に適切に対応できる。</p>
適切な事後措置・事後指導・事後管理	<p>実施した各種検診・健診の結果から受診者一人一人に合った指導ができる。</p> <p>また、その指導内容に沿い、受診者が自ら実行可能なものを提供できる。</p> <p>医師単独ではなく、保健師・管理栄養士・看護師等との連携ができる。</p> <p>提供した指導の継続管理ができる。</p> <p>精密検査、治療を必要とする場合には、適切な医療機関への受診勧奨、紹介ができる。</p> <p>がんが確診又は疑診される受診者に適切な説明と医療機関への誘導ができる。</p> <p>がん以外の生活習慣病について、継続的な管理、必要に応じ適切な医療機関への誘導ができる。</p>
予防医学の初歩の習得	<p>行動変容を促し、それにより実効性のある指導を提供するために、行動心理学などの初歩を身につける。</p> <p>各疾患の一次予防・二次予防を担える。</p> <p>予防医学の基礎、予防医療の社会的意義、その根拠となる疫学統計について理解している。</p>

(福田 崇典、斎藤 貴生)